

令和元年度 産業動物部会定時総会・講習会の開催

令和元年6月26日(水)、万代シルバーホテルにおいて、定時総会、講習会が開催されました。

定時総会終了後、講演会（35名出席）が開催され「農場 HACCP を応用したシステムティックな乳房炎コントロール」と題し、赤松ファームクリニック代表 赤松裕久先生より講演をいただきました。

赤松先生は、まず、HACCP の起源、概要等について解説された後、「HACCP で乳房炎は制御できるのか？」について説明されました。農場 HACCP の目的は「食の安全」、「家畜の健康管理」であり、ある程度、乳房炎予防効果は期待できるが、乳房炎の発生要因は多岐にわたるため、農場ごとの複雑に絡んだ要因を解明することが必要であり、「農場 HACCP のみでは、乳房炎の制御は十分に解決できない」との結論でした。さらに、農場 HACCP の取り組みは、農場主の姿勢、意欲が大変重要であることも強調されていました。



講習会の様子